

都市再生整備計画事業 フォローアップ報告書
検見川稲毛地区

平成27年2月

千葉県千葉市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	居住者数	人	6,400	7,200	7,252	確定 見込み ●	○	あり なし	7,280	H26年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	土地区画整理事業の進捗に伴う宅地造成が進み、住宅地としての居住環境が整い人口定着につながった。
指標2	都市的な土地活用面積	m ²	165,000	208,000	211,896	確定 見込み ●	○	あり なし	212,247	H26年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	住宅地としての魅力を高めるため、生活道路を中心とした居住環境の整備を進めてきた結果、良好な街並みも広がりを見せ、農地から住宅地へ土地利用転換が促進された。
指標3						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標4						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標2					確定 見込み				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標3					確定 見込み				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	居住環境の維持とさらなる向上	区画道路の整備	生活道路を中心とした居住環境の整備を進めてきた結果、良好な街並みが広がりを見せてきた。	土地区画整理事業により整備された公共施設の適切な維持・管理を図るとともに、住民参加による景観や環境に配慮したまちづくりを推進する。
	都市的な土地活用の促進	土地区画整理事業による宅地造成の推進	住宅地としての魅力が高まり、農地から住宅地へ土地利用転換が促進された。	土地区画整理事業を推進し、周辺地域への利便性の向上により土地活用をしやすくする。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	地区公園、街区公園の早期整備			地区公園、街区公園の整備については、関連事業として位置づけしており、地元の整備要望も高いことから早期の整備を目指す。
	住宅密集区域内の狭隘道路の解消			土地区画整理事業により、集団的な移転の協力を土地所有者等に求め、事業の推進を図る。
	信号機等の安全施設の設置			都市計画道路や区画道路が整備されてきた一方で、歩行者の安全を考慮した安全施設の設置を検討する。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項